

## 平成30年度「学校の森・子どもサミット」開催報告

「学校の森・子どもサミット」は、全国から集まった小学生が身近な自然や森林資源・教材等を活用した学校での体験学習について発表や意見交換を行い、これらを通じて学校における森林環境教育の活動の輪を全国に広げていくことを目的に実施されています。

今回、7月30日（月）および31日（火）の2日間、福井県内において平成30年度「学校の森・子どもサミット」を開催しました。

### 1 主 催 学校の森・子どもサミット実行委員会

実行委員：（公社）国土緑化推進機構、（公財）ニッセイ緑の財団、（公財）オイスカ、  
林野庁、（認定NPO）共存の森ネットワーク、  
（一社）全国森林レクリエーション協会、（公社）福井県緑化推進委員会、  
福井市教育委員会、若狭町教育委員会、  
福井県（義務教育課・森づくり課・自然環境課）

### 2 日 時 平成30年7月30日（月）13時00分

～31日（火）14時40分

※発表校以外の聴講者は30日（月）の分科会（16時40分）までの参加

### 3 場 所 30日（月）：アオッサ（活動発表、分科会）

三方青年の家（ネイチャーゲーム、工作体験、宿泊）

### 31日（火）：久々子湖（湖の体験活動）

気山小学校（ふりかえり）

### 4 参加者 <発表校>

発表校／全国から10小学校 約78名（引率教員含む）

### <聴講者>

約248名（発表校、県内教員、幼稚園・保育園関係者、自然体験活動者、  
林業関係者等）

## 5 開催概要

○7月30日(月)

【アオッサ県民ホール／13：00～15：40】

### (1) 開会あいさつ

- ・実行委員長 梶谷 辰哉 氏  
(国土緑化推進機構 専務理事)
- ・実行委員 木下 仁 氏  
(林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室長)



キーノートスピーチ

### (2) キーノートスピーチ「森林環境教育とESD」

- ・澁澤 寿一 氏 (NPO法人共存の森ネットワーク 理事長)

### (3) 小学生児童による活動事例発表

- ・全国から集まった小学生(10校)が身近な森林を活用した体験学習について発表を行った。



活動事例発表



聴講の様子

【アオッサ県民ホール、レクリエーションルーム／15：40～16：40】

### (4) 森林環境教育を考える分科会(大人のみ)

#### <分科会①>

「生き物や地域が発する問いに応えるまちづくり学習」

- ・講師：飯島 博 氏 (NPO法人アサザ基金代表)
- ・会場：アオッサ県民ホール
- ・内容： 飯島氏は、アサザプロジェクトを事例に環境学習を始める際には、まず、子どもたち自身で自ら問いを立て、その課題を教員と共有し、解決方法を子どもたちで考えさせることが重要であると紹介。また、総合的な学習では課題の答えにはたどり着けないかもしれないが、答えを出すまでの話し合い、学びおよび発表といったプロセスが大切であると説明した。



分科会①

#### <分科会②>

「森のようちえん～幼児期の子どもの可能性～」

- ・講師：内田 幸一 氏 (森のようちえん全国ネットワーク理事長)
- ・会場：アオッサレクリエーションルーム
- ・内容： この分科会には福井県内の保育園・幼稚園の関係者、自然体験活動者が多数参加した。内田氏は、森は幼児にとってどのような場所なのか、従来の保育教育と森のようちえんの違い、森のようちえんの教育効果などについて自身の体験や事例に基づき説明した。



分科会②

【三方青年の家／18：30～20：20】

(5) 森の体験活動（発表校児童が参加）

- ・ネイチャーゲーム
- ・福井県の森林についての学習
- ・組子細工（福井県産ヒノキを使った組子のキーホルダーづくり）



ネイチャーゲームの様子



組子細工の様子

○7月31日（火）

【久々子湖／8：25～10：45】

(1) 湖の体験活動（発表校児童が参加、2班に分かれて交互に体験を行った）

- ・シジミ採り体験

講師：田辺 義郎 氏（ラ・しじみ代表）

- ・生きもの調査

講師：小嶋 明男 氏（里山里海湖研究所相談員）

武田 真澄美 氏（里山里海湖研究所ふるさと研究員）

猛暑の中、子どもたちは久々湖でシジミを含む多くの生きものを発見し、湖にはたくさん生きものがあることを体感した。また、湖に流れ込む川と湖の水温の差を肌で感じながら、川と湖のつながりを学んだ。



シジミ採り体験の様子



生きもの調査の様子

【気山小学校／11：45～13：20】

(2) ふりかえり

講師：小嶋 明男 氏（里山里海湖研究所相談員）

武田 真澄美 氏（里山里海湖研究所ふるさと研究員）

まず、子どもたちは久々子湖で見つけたものについて報告した。次にどのような場所に生きものがいたのか、久々子湖に多くの生きものが住める理由をグループごとに考え、発表した。

今日の体験から子どもたちは、湖に住む生きものは川を通じて森から運ばれてくる栄養分によって育まれていることを体感でき、森と湖のつながりを学んだ。



ふりかえりの様子



集合写真